

平成29年入込観光客総評

平成30年6月 箱根町企画観光部観光課

平成29年の入込観光客は、3年ぶりに大台の2千万人を超えるとともに、大涌谷周辺の火山活動が活発化する以前の平成26年をも上回る結果となった。

入込観光客総数は、21,520千人（前年比110.0% 1,955千人の増）と前年から大きく増加した。その内訳は、宿泊客が4,694千人（前年比108.2% 354千人の増）、日帰り客が16,826千人（前年比110.5% 1,600千人の増）となっている。

1 宿泊客について

施設形態別に見ると、旅館・ホテルは4,073千人（前年比109.2% 343千人の増）、寮・保養所が554千人（前年比102.6% 14千人の増）、そして、その他の施設（民宿、国民宿舎、ユースホステル、ペンション及びキャンプ場）が66千人（前年比95.6% 3千人の減）となり、その他の施設は施設の閉鎖等により減少したものの、それ以外では前年を超える結果となった。

一般客は、4,140千人（前年比107.5% 287千人の増）、外国人観光客は546千人（前年比118.0% 83千人の増）とどちらも大きな伸びを示したものの、修学旅行客については8千人（前年比34.7% 16千人の減）と大幅に減少した。

一般客は、平成26年の水準以上まで回復し、外国人観光客については、訪日外客数が過去最高を記録した中、当町においても初めて50万人を突破した。修学旅行客については、受け入れ施設数は増加したものの、一部施設のリニューアル工事に伴う休館及び旅行先の多様化等の影響もあり大きく減少した。

2 日帰り客について

日帰り客も、宿泊客同様に大涌谷周辺の火山活動の活発化以前の水準まで回復することができた。

各種公共交通機関や乗車パスの利用が全般的に好調であったことや民間事業者による新規施設のオープン、外国人観光客の増加などを受け、季節外れの降雪や桜の開花が遅れた影響を受けた4月を除き、各月とも前年を大きく上回る結果となった。

3 月別入込み状況について

1月は降雪も少なく、好天に恵まれた日が多かったことや、卒業旅行シーズンとなった韓国からの若者が多く見受けられたこともあり、前年よりも多くの観光客が訪れた。2月は観光客の増加が期待された、プレミアムフライデーが実施されたが、それほど大きな盛り上がりが見られなかった。また、春節も月またぎとなったため中華圏からの観光客が例年よりさびしい状況となり、入込客数が伸びなかった。3月は卒業旅行とみられる若者のグループが目立ったとともに、イースター休暇を利用した欧米からの外客で賑わいがみられた。4月は、大型民間宿泊施設が新規オープンしたこともあり、宿泊客は好調であったものの、季節外れの降雪や桜の開花の遅れなどもあり日帰り客は伸び悩んだ。5月のゴールデンウィーク期間中は、宿泊施設も全般的に満室となり好調であった。また、ゴールデンウィーク後も例年より開花が遅れたツツジが見頃を迎えるなど、月をとおして各地で賑わいがみられた。6月は、例年よりも早い梅雨入りであったが、天気の崩れが少なく富士山の眺望を楽しめる日が多く見られた。7月、8月は、夏休み開始から8月中旬まで天候不順の日が多く、その影響が懸念されたものの、民間の日帰り入浴施設のリニューアルオープンや宿泊施設の新規オープンが続いたことや、天候が回復した中旬以降は前半の出控えの反動もあり、非常に多くの観光客で賑わいがみられた。9月は、去年の記録的な日照不足とは異なり、行楽日和の日が多かったことから、日帰り客を中心に前年を大きく上回った。10月は、中旬から下旬の長雨に加え、季節外れの台風が2度接近したこともあり国内客については、有料道路や屋外観光施設などで大きな影響がでるなど減少したものの、中国及び韓国の大型連休により、両国からの旅行者が非常に多くみられた。11月は大名行列や仙石原のススキ、見頃を迎えた紅葉などを目当てに非常に多くの観光客が来町し、週末には公共交通機関の乗車待ちや、町内道路での大規模な渋滞がみられるなど前年以上の賑わいがみられた。12月は、行楽シーズンで盛り上がった前月の反動からか、国内客が大きく減少し、学校が長期休暇となったシンガポールからの観光客が非常に多く見られた。

なお、平成29年に最大の入込みがあったのは、前年同様、仙石原すすき草原、見頃を迎えた紅葉を目当てに多くの観光客で賑わいがみられた11月であり、次いで夏休みの8月という状況であった。

4 まとめ

平成29年は、平成28年7月26日の園地再開（一部を除く）以降、大涌谷の火山活動の影響も落ち着きを見せ、新たな宿泊施設等のオープンが続いたことや、過去最高を記録した訪日外国人観光客の後押しなどを受け、国際観光地箱根の復活を印象付ける結果となった。特に外国人観光客については、その姿を町内各所で見ない日が無いというほど増加が顕著に感じられ、初めて宿泊外国人客が50万人を超え過去最高を記録した。

当町においては、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、誘客が見込まれる優良市場への民間事業者を交えた積極的なプロモーション活動や更なる受け入れ環境の整備を行ったとともに、国内客への誘客宣伝、新規事業として箱根芸者お座敷券の発行など、国際観光地として持続的に発展が出来るよう、各種取組を推進したことが入込観光客の増加につながったものと考えているものである。

平成30年は、大型宿泊施設の閉館や、リニューアルによる長期休館があり、入込客数への影響が懸念されるものの、新型ロマンスカーの就役や新たな交通アトラクションの登場、宿泊施設の相次ぐ新規オープンなどが予定されていることから、これらの新たな観光資源を活用するとともに、ハイシーズン以外の誘客対策などの検討も含め、3月に策定された第2次HOT21観光プラン基本計画の基本方針や戦略に則り、4月に設立された箱根DMOと町観光行政が密接な連携のもと、官民地域一体の「ALL箱根体制」で、当町の観光経済の更なる拡大・発展に努めて行きたい。

平成29年 月別入込観光客数一覧

(単位:人)

施設区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	対前年比
旅館・ホテル	292,471	279,793	381,289	328,167	323,763	298,337	325,536	440,006	322,103	356,969	378,102	346,869	4,073,405	109.2%
(内数:一般客)	252,310	245,652	339,269	258,704	280,253	262,634	279,184	399,086	285,366	291,649	328,992	305,039	3,528,138	108.4%
(内数:外国人客)	39,937	34,141	42,020	69,429	41,786	34,881	46,151	40,808	36,271	62,075	47,707	41,772	536,978	118.8%
(内数:修学旅行者)	224	0	0	34	1,724	822	201	112	466	3,245	1,403	58	8,289	34.3%
民宿・国民宿舎 ユースホステル等	1,560	1,265	2,044	1,891	2,119	1,287	1,928	2,837	1,673	1,785	2,012	1,751	22,152	84.9%
(内数:外国人客)	485	399	655	876	696	461	838	954	672	769	658	482	7,945	82.2%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	35	0	0	28	10	0	0	54	0	127	167.1%
ペンション	278	188	461	296	317	172	188	499	189	283	330	269	3,470	73.4%
(内数:外国人客)	29	4	48	100	26	4	4	16	3	51	24	16	325	260.0%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
キャンプ場・コテージ	980	834	3,170	1,936	4,681	2,694	5,345	9,479	4,007	2,744	2,820	1,936	40,626	107.7%
(内数:外国人客)	18	8	15	3	30	8	27	80	32	14	13	16	264	64.1%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
寮・保養所	35,509	27,806	50,038	44,312	49,393	40,510	48,217	73,172	40,129	45,440	52,689	46,645	553,860	102.6%
宿泊客計	330,798	309,886	437,002	376,602	380,273	343,000	381,214	525,993	368,101	407,221	435,953	397,470	4,693,513	108.2%
(内数:外国人客)	40,469	34,552	42,738	70,408	42,538	35,354	47,020	41,858	36,978	62,909	48,402	42,286	545,512	118.0%
(内数:修学旅行者)	224	0	0	69	1,724	822	229	122	466	3,245	1,457	58	8,416	34.7%
日帰客	974,253	1,014,637	1,716,301	1,440,347	1,760,050	1,494,192	1,192,997	1,746,589	1,137,470	1,268,722	2,086,484	994,445	16,826,487	110.5%
観光客総数	1,305,051	1,324,523	2,153,303	1,816,949	2,140,323	1,837,192	1,574,211	2,272,582	1,505,571	1,675,943	2,522,437	1,391,915	21,520,000	110.0%

過去10年間の観光客の推移

(1) 宿泊客数			平成19年	4,722,093
年	宿泊客数(人)	対前年比	対H19年比	対前年増減比(人)
20	4,727,069	100.1%	100.1%	4,976
21	4,525,157	95.7%	95.8%	△ 201,912
22	4,646,053	102.7%	98.4%	120,896
23	4,280,639	92.1%	90.7%	△ 365,414
24	4,631,951	108.2%	98.1%	351,312
25	4,716,936	101.8%	99.9%	84,985
26	4,606,751	97.7%	97.6%	△ 110,185
27	3,665,231	79.6%	77.6%	△ 941,520
28	4,338,824	118.4%	91.9%	673,593
29	4,693,513	108.2%	99.4%	354,689

(2) 日帰客数			平成19年	15,539,907
年	日帰客数(人)	対前年比	対H19年比	対前年増減比(人)
20	15,949,931	102.6%	102.6%	410,024
21	15,123,843	94.8%	97.3%	△ 826,088
22	15,389,947	101.8%	99.0%	266,104
23	13,390,361	87.0%	86.2%	△ 1,999,586
24	14,806,049	110.6%	95.3%	1,415,688
25	16,140,064	109.0%	103.9%	1,334,015
26	16,583,249	102.7%	106.7%	443,185
27	13,710,769	82.7%	88.2%	△ 2,872,480
28	15,226,176	111.1%	98.0%	1,515,407
29	16,826,487	110.5%	108.3%	1,600,311

(3) 観光客総数			平成19年	20,262,000
年	観光客総数(人)	対前年比	対H19年比	対前年増減比(人)
20	20,677,000	102.0%	102.0%	415,000
21	19,649,000	95.0%	97.0%	△ 1,028,000
22	20,036,000	102.0%	98.9%	387,000
23	17,671,000	88.2%	87.2%	△ 2,365,000
24	19,438,000	110.0%	95.9%	1,767,000
25	20,857,000	107.3%	102.9%	1,419,000
26	21,190,000	101.6%	104.6%	333,000
27	17,376,000	82.0%	85.8%	△ 3,814,000
28	19,565,000	112.6%	96.6%	2,189,000
29	21,520,000	110.0%	106.2%	1,955,000